

検討項目6: 自己収入化していくための取組や、自己収入を確保するための枠組みが整備されているか。

自主事業収入の現状(平成22年度)

(単位 円)

事業名	収入額	事業名	収入額
技能検定試験問題等作成	415,411,416	ビジネス・キャリア検定事業	140,710,700
技能競技大会実施※	43,689,700	若年者ものづくり競技大会※	828,450
全国技能士競技大会実施事業※	17,850,000	職業訓練生援護事業	258,965,037
国際技能競技大会※	10,738,500	人材開発支援事業	1,641,700
コンピュータサービス技能評価試験	253,336,470	図書出版事業	63,096,535
CADトレース技能審査	46,836,000		

※ 委託事業のうち、国費で支弁できない経費について参加料を徴収しているもの。

自主事業収入の推移

(単位 円)

	20年度	21年度	22年度
自主事業収入額	1,229,275,380	1,309,944,603	1,253,104,508
総事業収入に占める割合	30.2%	32.0%	41.5%

## 自己収入化の取組、枠組みの整備

### 自主事業検討部会の設置(22年度)

22年度、協会内に、自主事業検討部会を設置し、以下の3点の事業の方向性を念頭に置いて、検討を進めてきた。検討においては、4回、部会を開催し議論を行ったほか、複数の関係業界団体、個別企業、労働組合等からヒアリングを行った。

- ① 業界・企業に対するコンサルテーション  
新たな業界内検定制度創設への支援、個別企業における能力評価基準を活用した人材育成への支援等
- ② 労働者個人に対するキャリア形成支援  
非正規労働者に対するキャリア形成支援、労働組合が組合員等に対して行うキャリア形成支援への協力等
- ③ 既存の自主事業の改善